

さらなる高みへ挑戦

中世ヨーロッパの騎士道を起源とするスポーツ「フェンシング」は、オリンピックの伝統競技であり、近代五種競技の種目でもあります。この競技に日々打ち込み、世界の舞台を目指すU-17育成指定選手の笠原怜姫さんをご紹介します。



笠原
Satoki
Kasahara
怜姫
さん

JOCフェンシング・女子エペU-17育成指定選手

年

の瀬が迫る、夕暮れ時の体育館。一人で黙々とアップを始めた笠原怜姫さん(田岸)を毎日指導するため、ほどなくやってきた森隆先生(上内出)による一対一の稽古が始まります。1月に控える、世界選手権のメンバーを決めるJOCジュニア・オリンピック・カップフェンシング大会に向け、練習は徐々に熱を帯び、緊張感が静かな体育館を包んでいきます。

笠原さんが初めてフェンシングの剣を握ったのは、小学校4年生の時。沼田フェンシングクラブで真剣に練習に励み、めきめきと頭角を現してJOCフェンシング・女子エペのU-17育成指定選手となりました。

去る11月29日、群馬県フェンシング協会(吉澤博通会長)の主催で行われた、県ジュニアフェンシング選手権大会(前橋市)で笠原さんは、得意とする種目のエペで他を寄せ付けない強さで優勝を果たしました。笠原さんは「まず世界選手権のメンバーに入り、将来はオリンピックに出場したい」と常に前を向いています。



Profile かさはら・さとき

昭和中学校2年生。部活動では剣道に取り組んでいる。フェンシングの間合いの取り方は剣道にも生かせる、と笠原さん。フェンシングの得意種目エペは小学校6年から本格的に開始。好きな言葉は、I can and I will.



群馬県ジュニアフェンシング選手権大会・女子エペで優勝(写真中央は決勝戦)